

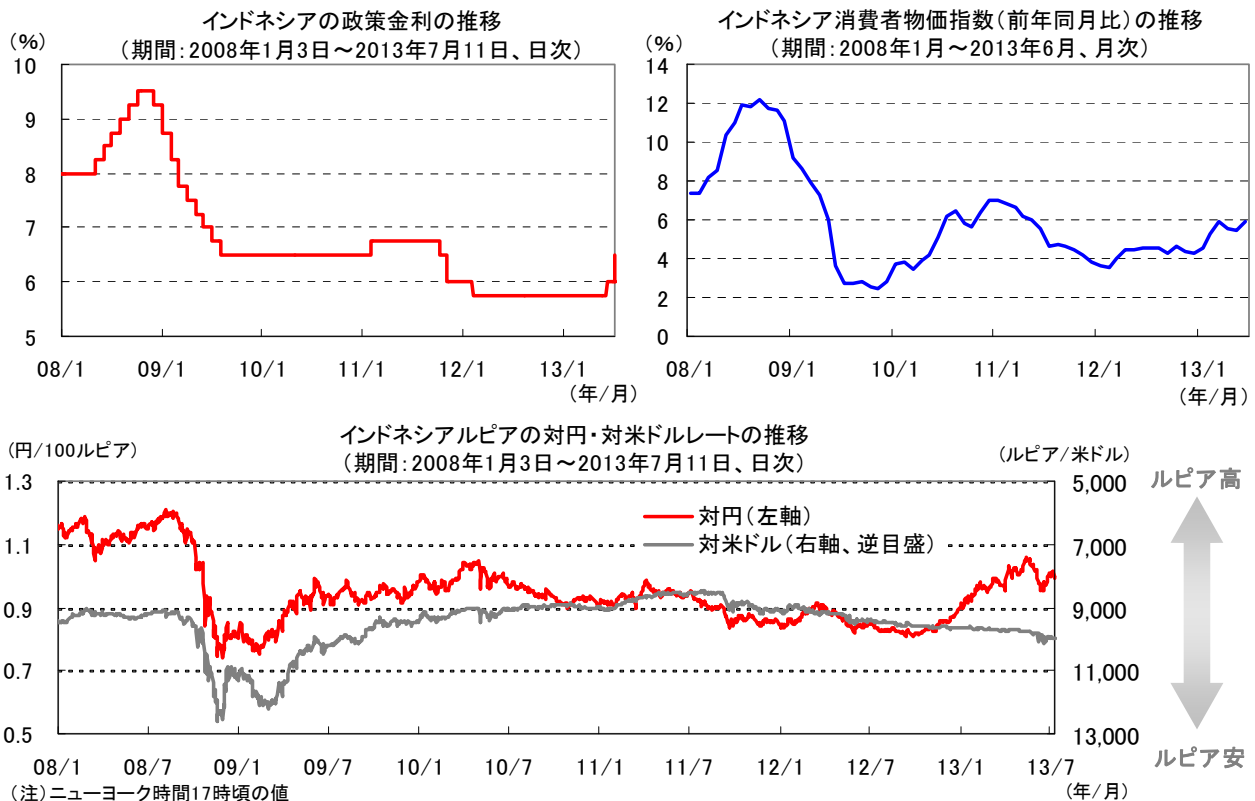
7月11日発表のインドネシアの利上げについて

2013年7月11日、インドネシア中央銀行は政策金利を0.50%引き上げ、年率6.50%とすることを決定しました。利上げ自体は概ね事前の市場予想に沿うものですが、利上げ幅については、0.25%を予想する向きが大勢であったのに対し、それを上回る結果となりました。今回の利上げは、先月13日の金融政策決定会合に続き、2会合連続の政策金利引き上げとなります。政策金利の引き上げと同時に、市中銀行が中央銀行に資金を預け入れる際の「預金ファシリティ金利」も4.25%から4.75%に引き上げられました。

同中銀は声明のなかで、今回の決定について「インフレが目標レンジに回帰するのを確実にするため」とするとともに、「為替レートの安定の維持」にも言及しています。先月、インドネシア当局が2008年以來の燃料補助金削減・価格引上げに踏み切ったこともあり、同月の消費者物価指数は前年同月比+5.90%と、2ヵ月ぶりに同中銀のインフレ目標(4.5%±1%)の上限を上回りました。また、足元のインドネシアルピアの対米ドルレートは、同中銀の断続的なルピア買い介入にもかかわらず、2009年秋以來の安値水準となっています。

7月11日の外国為替市場(ニューヨーク時間17時頃)では、インドネシアルピアは対米ドルで前日比ほぼ変わらず、対円で同0.7%のインドネシアルピア安となっています。

次回の金融政策決定会合は2013年8月15日の予定です。



以上

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。